

# 短歌様式の発生に絡んだある疑念

折口信夫

青空文庫



今の世の学者が、あらゆる現象を、単純から複雑に展開してゆくものときめてかゝる考へ方は、多くの場合まちがった結論に安住することになつてゐる。文学の場合もさうであつた。

沢村専太郎氏が、ふた昔も前に発表せられた、短歌様式の論（明治四十年頃の新小説）は、それまでの歌論の、ゆきつく処まで、ひき上してゐる。其後、友人武田祐吉も論じ、私も聊か述<sup>いささ</sup>べたことがある。

併、考へれば、私までが、簡単な論理に低回してゐたのであつた。あしびきの山より出づる月まつと、人には言ひて妹待つ吾を

（万葉卷十二）

この歌は、おなじ万葉の、

もゝたららず山田の道を靡<sup>ナミ</sup>く藻<sup>ウツク</sup>の愛<sup>ツマ</sup>し配と語らはず別れし来れ  
ば……靈あはゞ君来ますやと……たまぼこの道来る人の亭<sup>タ</sup>ち  
とまりいかにと問はゞ答へやるたつきを知らにさにつらふ君  
が名言はゞ色に出でて人知りぬべみ あしびきの山より出づ  
る月待つと人には言ひて君待つ吾を

反歌（略する）

（卷十三）

此ふたつの歌の前後は、定めにくいし、暗合と見られぬこともない。卷十二の性質上、後の長歌に対して、やゝ後世に記録せられた、と考へてもよさうである上に、卷十三の長歌は、進歩した、

叙事脈の抒情詩である。おそらく、ある演劇としての出発点をもつた、おなじ巻の多くの組み歌——反歌を具へた長歌——とおなじ部類にはいるはずの、民謡出の采風歌だらう、と思つてゐる。大体から見て、長歌の末が独立するわけがあつて、一種の短歌となつたものと見るのが、正しいであらう。

民謡——職業伶人の謡うたものをもこめて——から出たものとするれば、説明は簡単である。流離の音楽者に謡はれた叙事詩が残していつたかたみは、最、ものゝあはれを思ひ知らせる部分であつたらう。

粗野な村々の祖先の心は、はじめて、芸術の齎す効果に近いものを受けた。

民謡のはじまりは、さうした断片の詩にある。

かうして、荒い心も、歌で和んで来るうちに、地方々々の妥当性——地名・神名——を加へて来る。それでも、類型を脱しない、創作意識の出発点からしてない、抒情化した叙事詩にすぎないものである。それが、次第に、創作動機を刺戟して、文学の芽生えが、民謡のうちに現れて、まだ類型風でありながら、いくぶんの個性を出すようになった。

卷十三の組み歌のうちに、さうしたものが、大部分を占めてゐる事を推断するのは、必、正しからう。是（卷十二）に短歌として扱はれたわけも、こゝにあると見るのが、ほんとうだと信じる。さうした種類の歌が、ほかにも見える。

卷二の、

石見の海都農ツヌの浦わを……いや高に山も越え来ぬ。夏草の思  
ひしなへてしぬぶらむ妹が門見む。靡け。この山。

反歌（二首略する）

人麻呂の歌としての伝説を信じても、是歌が、なほ、民間に流布したものと信じることは、他の人麻呂集の歌が、民謡として行はれた、と見えるのから推しても、また、「異本の歌」や「一云」とある、異伝を考へても、是歌の謡ひ広められたあとを見ること  
が出来る。

是「卷十三」「卷二」の二つの長歌に見えるすがたが、どういふ考へを誘ひ出すか、少くとも、三つの問題を解決してかゝらねば

なるまい。

一、音脚変化のこと。二、反歌発生の原因。三、他の短歌発生の原因との交錯したあんばい。

是については、亦の場合に申しあげるお約束をしておく。

# 青空文庫情報

底本：「折口信夫全集 ㊦」中央公論社

1995（平成7）年5月10日初版発行

初出：「橄欖 第四卷第七号」

1925（大正14）年7月

※底本の題名の下に書かれている「大正十四年七月「橄欖」第四卷第七号」はファイル末の「初出」欄に移しました

入力：門田裕志

校正：仙酔あびす

2009年10月31日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 短歌様式の発生に絡んだある疑念

折口信夫

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>